

新国立競技場計画縮小

五輪相方針 総工費3000億円試算で

下村五輪相は23日の参院
 予算委員会で、2020年
 夏季五輪・パラリンピック
 のメインスタジアムとなる
 新国立競技場(東京都新宿
 区)について、デザイン通
 り建設した場合の総工費の
 試算が3000億円に達す

ることを明らかにし、周辺
 施設を中心に規模を縮小す
 る考えを示した。国立競技
 場を運営する日本スポーツ
 振興センターは、当初総工
 費を1300億円と想定し
 てデザインを公募したが、
 3000億円に上ることが

採用後にわかったという。

下村氏は、「あまりにも膨
 大な予算がかかりすぎるの
 で、縮小する方向で検討す
 る必要がある」と述べた。

競技場はイラク出身の女
 性建築家、ザハ・ハデイド
 氏がデザイン。流線形が特
 徴で、開閉式の屋根や可動
 式の観客席を備える。

下村氏は経費節減の対象
 について、「デザインその
 ものは生かす。競技場は国
 際オリンピック委員会(I
 OCC)の基準に合わせてるが、
 周辺は縮小する」と述べた。
 文部科学省によると、競技
 場と最寄り駅を結ぶ通路な
 ど、一部施設を簡素化して
 節減する。自民党の山谷え
 り子氏の質問に答えた。